

む こ がわ  
武庫川水系河川整備計画

資料編

平成 23 年 8 月

兵庫県

# 目 次

## 1 補足説明資料

以下の資料は、武庫川水系河川整備計画(原案)の補足説明資料として、第55回以降の武庫川流域委員会に提示したものを編集し、とりまとめたものである。

とりまとめにあたっては、長期に及ぶ整備計画期間を通じて、事業主体である河川管理者及び流域各市の担当者はもとより、住民等が計画の背景や事業の意味を正しく理解できることを念頭においた。

本資料は、武庫川水系河川整備計画を補足説明するものでもあることから、事業実施の際には、これらの資料に示した検討の背景や結果、事業実施にあたっての留意事項等を十分に把握した上で、現地状況を踏まえ、柔軟かつ適切に対応することが重要である。

(1) 概要	< 2 >
資料 1-1 武庫川水系河川整備計画(原案)の概要	< 3 >
資料 1-2 武庫川水系河川整備計画(原案)に関する概算事業費について	< 24 >
資料 1-3 平成12年の兵庫県表明に関する流域委員会開催までの経緯について	< 26 >
(2) 治水に関する資料	< 36 >
資料 1-4 整備目標の設定について	< 37 >
資料 1-5 下流部築堤区間における河道対策の安全性の検討について	< 46 >
資料 1-6 青野ダムの予備放流量の拡大について	< 80 >
資料 1-7 流域対策の目標設定について	< 90 >
(3) 利水に関する資料	< 92 >
資料 1-8 正常流量の検討地点について	< 93 >
資料 1-9 魚類毎に必要な流量の算定について	< 95 >
(4) 環境に関する資料	< 98 >
資料 1-10 武庫川水系に生息・生育する生物及びその生活環境の持続に関する2原則の適用について	< 99 >
資料 1-11 事業実施にあたっての課題	< 165 >
資料 1-12 流域市が求めている武庫川の河川景観について	< 167 >
(5) 推進体制に関する資料	< 170 >
資料 1-13 総合的な治水対策の推進体制(案)について	< 171 >
資料 1-14 武庫川水系河川整備計画の着実な推進を図るしくみ	< 173 >
資料 1-15 武庫川水系河川整備計画(原案)の概略工程表	< 175 >

## 2 既存利水施設の治水活用および新規ダムに係る武庫川峡谷環境調査に関する検討状況

以下の資料 2-1 および資料 2-3 は、武庫川水系河川整備計画(原案)<sup>\*</sup>において、必要性・実現可能性の検討を継続するとして既存利水施設の治水活用と新規ダムの建設に関する検討・調査状況について平成 22 年 3 月に武庫川流域委員会に提示したものである。資料 2-2 は、既存利水施設である千苺ダムの安全性に関する基本的な考え方について平成 22 年 8 月に武庫川流域委員会に提示したものである。

### (1) 既存利水施設の治水活用等に関する資料 . . . . . < 178 >

資料 2-1 既存利水施設の治水活用についての検討状況 . . . . . < 179 >

資料 2-2 千苺ダムの安全性に関する基本的な考え方 . . . . . < 244 >

### (2) 新規ダムに係る武庫川峡谷環境調査状況について . . . . . < 247 >

資料 2-3 新規ダムに係る武庫川峡谷環境調査状況について . . . . . < 248 >

## 3 河川整備基本方針の目標達成に向けて検討が必要な事項に関する流域委員会委員の提案(本編の「付記(検討事項)」への記載に至らなかった事項)

流域委員会委員から、長期的な河川整備基本方針の目標達成に向けて検討が必要であると考えられる事項について、種々の提案があった。

このうち、本編の「付記(検討事項)」への記載に至らなかった事項について掲載し、今後の参考とする。

資料 3-1 河川整備基本方針の目標達成に向けて検討が必要な事項に関する流域委員会委員の提案(本編の「付記(検討事項)」への記載に至らなかった事項) . . . < 289 >

## 付 録 (流域委員会資料番号対応表)

<sup>\*</sup>武庫川水系河川整備計画の「原案」は、平成 22 年 1 月 26 日に開催された第 55 回武庫川流域委員会に提示したものである。

# 1 補足説明資料

## ( 1 ) 概 要

## 資料 1-1 武庫川水系河川整備計画（原案）の概要

---

### 要 旨

本資料は、河川整備計画（原案）のうち整備目標や治水対策の考え方、動植物の生活環境の保全・再生への取り組みなど、特に重要な事項についての基本的な考え方を示したものである。また河川整備基本方針と河川整備計画の関係、河川整備計画と総合治水推進計画の関係、原案から計画策定までの流れについても分かりやすく整理した。

### 資料構成

#### 武庫川水系河川整備計画（原案）の概要

- 1 これまでの経緯
- 2 河川整備計画とは
- 3 計画の目標
- 4 課題を踏まえた治水対策の選定
- 5 総合的な治水対策の推進
- 6 洪水に対する安全性のさらなる向上
- 7 動植物の生活環境の保全・再生
- 8 河川整備計画（原案）の構成など

# 河川整備計画(原案)の概要

む こ がわ

## 武庫川水系河川整備計画 (原案) の概要

- 1 これまでの経緯
- 2 河川整備計画とは
- 3 計画の目標
- 4 課題を踏まえた治水対策の選定
- 5 総合的な治水対策の推進
- 6 洪水に対する安全度のさらなる向上
- 7 動植物の生活環境の保全・再生
- 8 河川整備計画(原案)の構成など





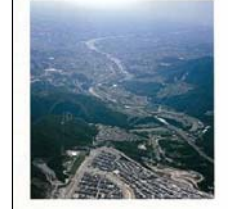
兵庫県







### 1 これまでの経緯

「武庫川改修計画平面図」(大正9年～昭和3年)

# これまでの経緯

昭和62年度	昭和58年洪水を契機に 尼崎・西宮・伊丹・宝塚市域 で河川改修事業に着手	 <p>昭和58年洪水 (宝塚市)</p>  <p>河川改修事業</p>
平成5年度	武庫川ダム建設事業に着手	 <p>阪神市圏地を水害から守る 武庫川ダム MURUGAWA DAM</p>
平成12年度	武庫川峡谷の自然環境に与える影響が 大きいというダム反対の声が大きくなり、 平成9年の河川法改正の流れもあって、 「 <b>合意形成の新たな取り組み</b> を行うとともに、 <b>総合的な治水対策についてゼロベースから検討</b> する」 ことを兵庫県知事が表明(平成12年9月)	

平成15年度	学識経験者や地域住民の幅広い 意見を反映させた計画を作成する ため、「 <u>武庫川流域委員会</u> 」を設置 (平成16年3月)	 <p>武庫川流域委員会</p>
平成16年度	進めてきた河川改修事業の 整備水準を超える規模の洪水が発生	 <p>生瀬</p>
平成18年度	武庫川流域委員会が 提言書を知事に提出(平成18年8月)  (説明用補足資料)資料5-2	 <p>提言書を知事に提出</p>
平成20年度	国土交通大臣の同意を得て 「 <u>武庫川水系河川整備基本方針</u> 」 を策定(平成21年3月10日)	 <p>武庫川水系河川整備基本方針 平成21年3月 国土交通省</p>





2 河川整備計画とは

# 河川の計画 (河川整備計画とは)



基本方針: 河川法第16条  
整備計画: 河川法第16条の2

基本方針の目標達成に向けて  
概ね20~30年間で実施する  
河川整備の内容

**策定済**

河川整備の  
最終目標

武庫川水系  
河川整備**基本方針**

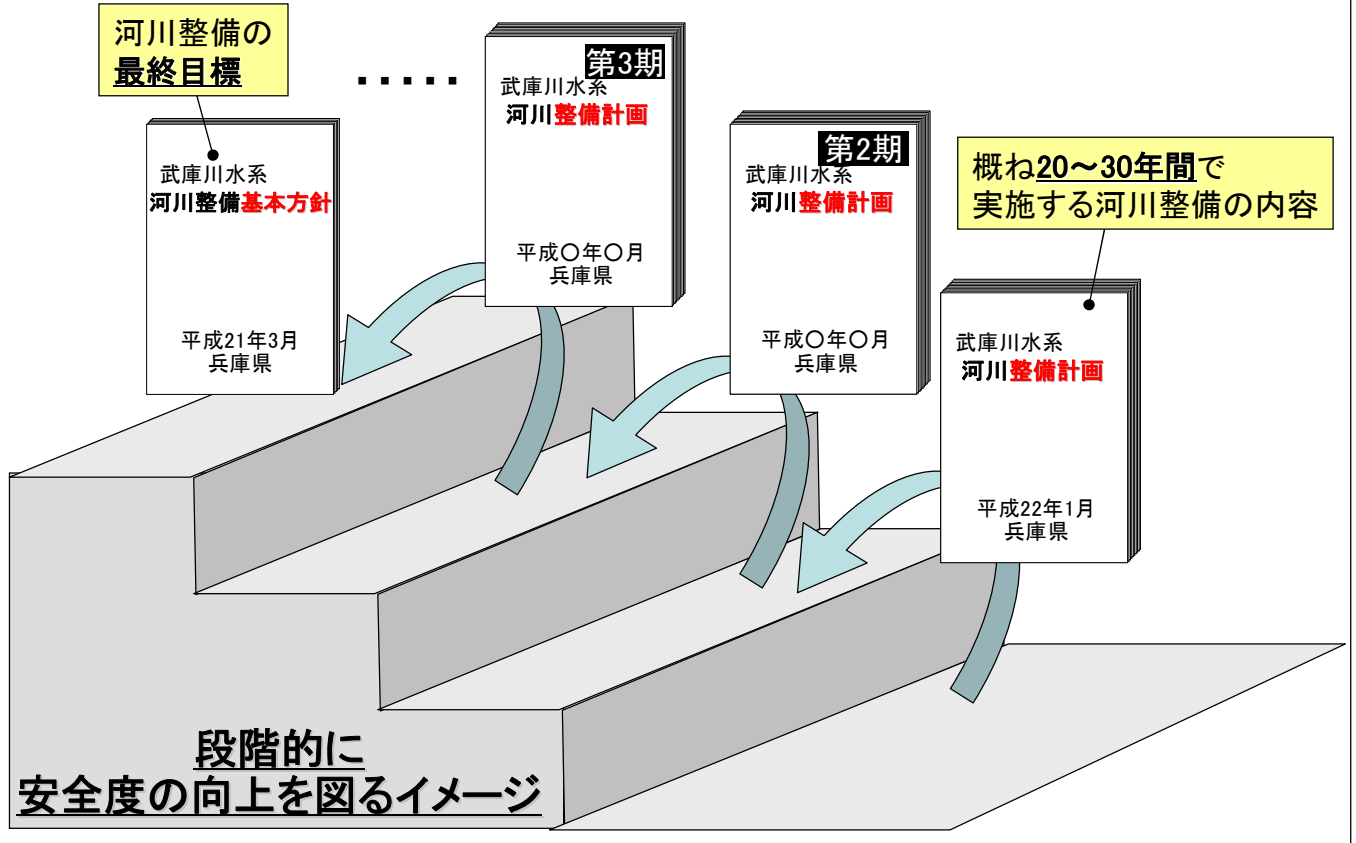
平成21年3月  
兵庫県

**今回**

武庫川水系  
河川**整備計画**  
(原案)

平成22年1月  
兵庫県

# 基本方針との関係を階段に例えると



## 段階的な安全度の向上

河川整備基本方針の整備目標を達成するには、物理的・社会的・財政的等の視点からみても多くの期間を要するため、20~30年間で全てを完成させることは困難である。



河川整備計画で、適切な整備目標を設定し、河川整備基本方針の整備目標達成に向け、段階的に洪水に対する安全度を向上させる。



### 3 計画の目標

## 計画の目標

河川整備の最終目標

目標流量  $4,690\text{m}^3/\text{s}$

策定済

武庫川水系  
河川整備基本方針

平成21年3月  
兵庫県

基本方針の目標達成に向けて  
概ね20~30年間で実施する  
河川整備の内容

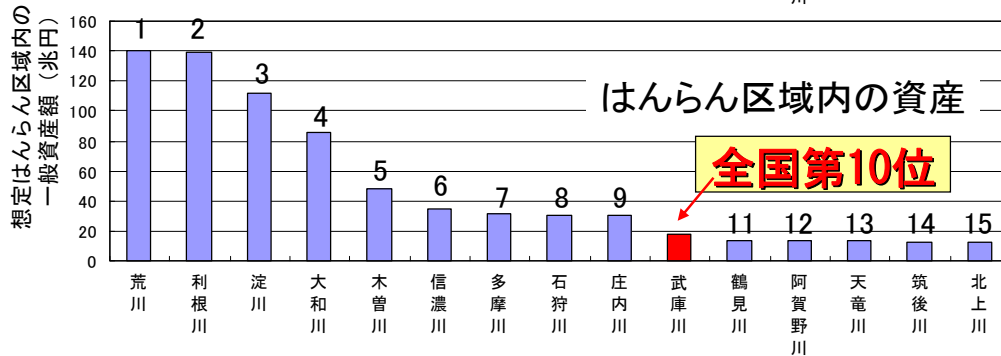
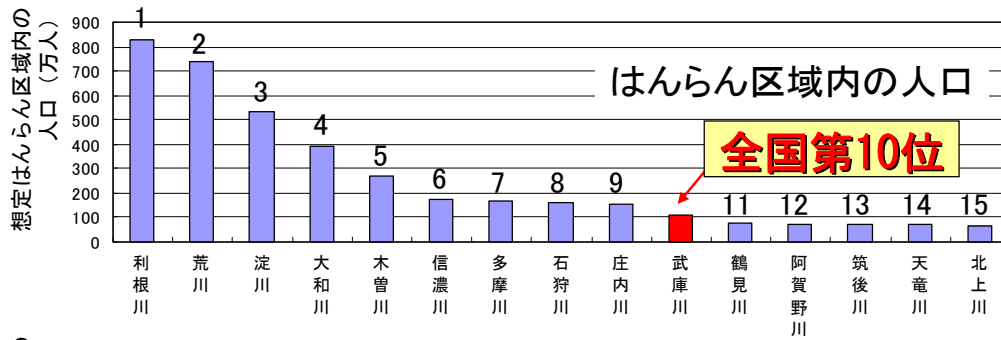
目標流量 ?  $\text{m}^3/\text{s}$

今回

武庫川水系  
河川整備計画  
(原案)

平成22年1月  
兵庫県

# 国管理河川と肩を並べる 武庫川の想定はんらん区域内の人口・資産

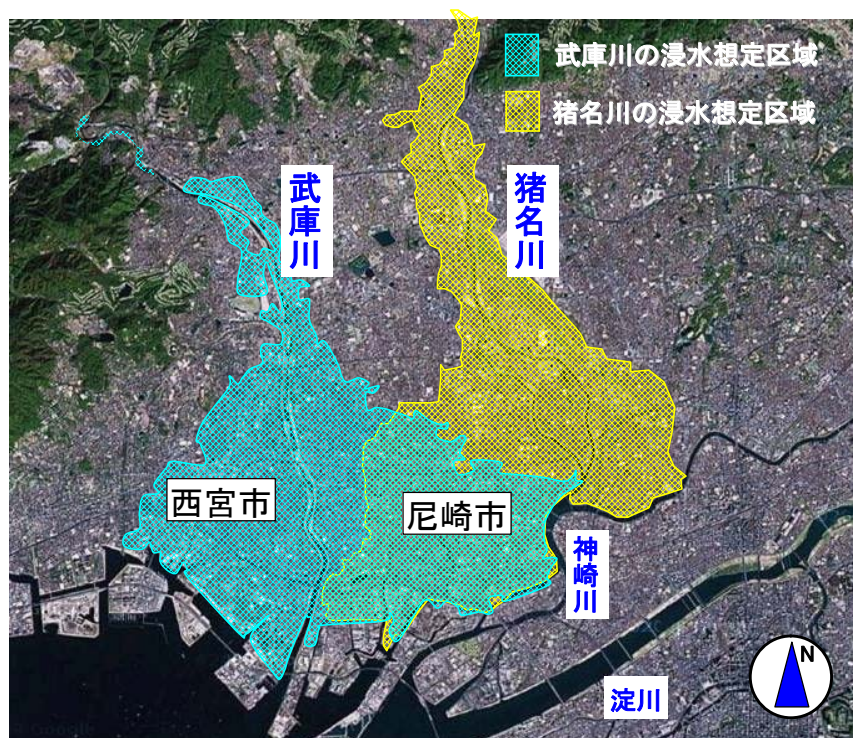


平成20年度 第8回河川現況調査より

全ての一級水系(109水系)及び主要な二級水系(100水系)を対象とした調査。

想定氾濫区域内人口・資産の上位15水系のうち、二級水系は武庫川のみ。

# 武庫川とはんらん区域を共有する猪名川



# 上位クラスの 国管理河川等の 目標水準

- ① 上位クラスの  
国管理河川
- ② 武庫川と氾濫  
区域を共有する  
猪名川

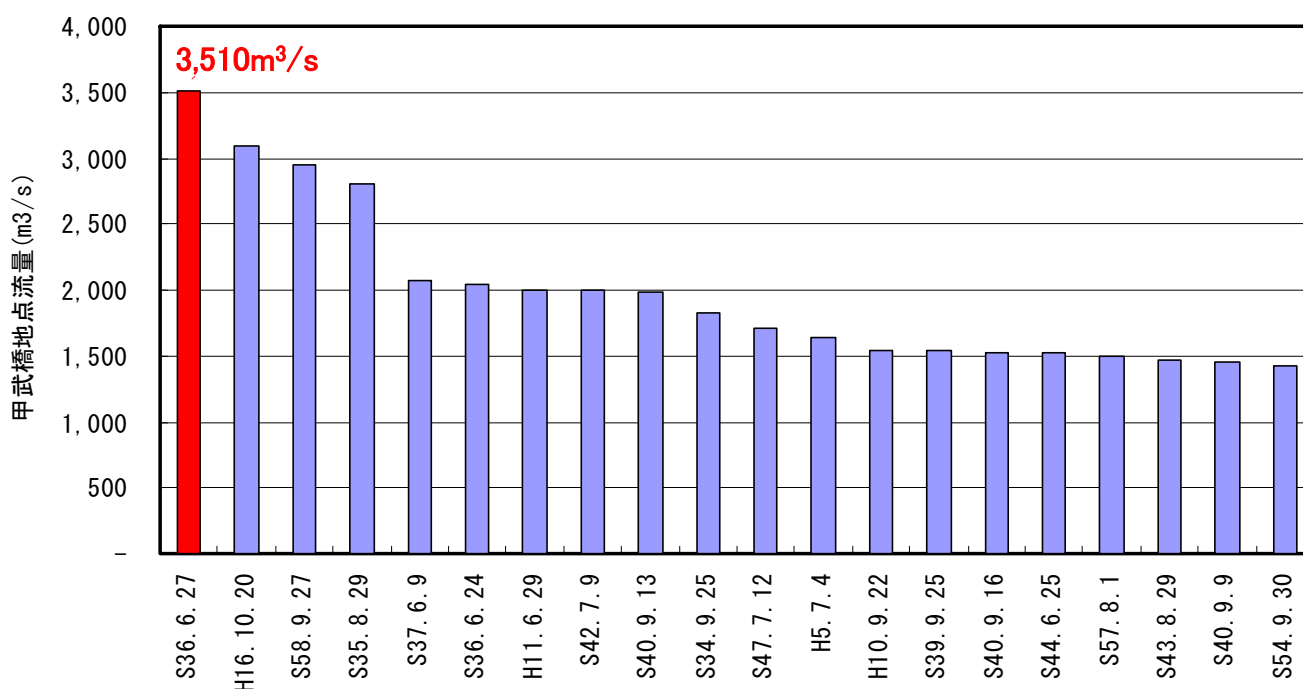
の目標水準



ともに  
戦後最大洪水

水系名	河川整備計画の 目標水準 (平成21年8月時点)	想定氾濫区域内	
		人口順位	一般資産 額順位
荒川	(未策定)	2	1
利根川	(未策定)	1	2
淀川(猪名川含む)	戦後最大洪水	3	3
大和川	(未策定)	4	4
木曾川	戦後最大洪水	5	5
信濃川	(未策定)	6	6
多摩川	戦後最大洪水	7	7
石狩川	戦後最大洪水	8	8
庄内川	戦後最大洪水	9	9
<b>武庫川</b>	<b>戦後最大洪水</b>	<b>10</b>	<b>10</b>
鶴見川	戦後最大洪水	11	11
阿賀野川	(未策定)	12	12
天竜川	戦後最大洪水	14	13
筑後川	戦後最大洪水	13	14
北上川	(未策定)	15	15

## 武庫川の洪水流量上位20



# 計画の目標

河川整備の最終目標

目標流量4,690m<sup>3</sup>/s

策定済

武庫川水系  
河川整備**基本方針**

平成21年3月  
兵庫県

基本方針の目標達成に向けて  
概ね20～30年間で実施する  
河川整備の内容

目標流量3,510m<sup>3</sup>/s

今回

武庫川水系  
河川整備**計画**

戦後最大の洪水である  
昭和36年6月27日洪水と同規模  
の洪水から沿川住民の生命や  
財産を守ることとし、  
目標の流量を3,510m<sup>3</sup>/sとする。

(説明用補足資料)資料5-3



## 4 武庫川の課題を踏まえた 治水対策の選定

現在の地形図